

インドネシア 生態学的関連種作業部会 (ERSWG) への年次報告2012  
INDONESIA

1. はじめに

ミナミマグロは一般的にはえ縄により漁獲される。漁期は毎年8月に始まって4月まで続き、5月から7月までの間は漁獲量が減少する傾向がある。ほとんどのインドネシアはえ縄漁船は、インドネシア漁業管理海区No.573及びCCSBTの漁獲証明制度統計海区1で操業するが、海区8及び9で操業する漁船も少数存在する。インドネシアはSBTの輸出国の一つであるが、インドネシアのマグロはえ縄漁船の漁獲対象種は主にメバチ及びキハダである。SBTの水揚げ地は、ジャカルタ漁港、チラチャップ漁港（ジャワ島中央部）、ベノア港（バリ島）及びプラブハンラトゥ漁港（ジャワ西部）である。

